

# 令和4年度 「幼稚園 学校評価」結果

学校法人渋沢学園  
いずみ幼稚園

## I 教育目標 『豊かな感性・たくましい心身・考える子』

1. 自然に触れ合い、命の尊さと優しい心を育む
2. 豊かな感性と健康でたくましい心身をつくる
3. 一人ひとりの個性を大切に良さを引き出す
4. 安全・生活・社会のルールを身につける

## II 本年度の重点目標

### 1. 「自然体験」

〈身体能力・思考力・見る力・想像力・表現力・開放感・感性・自己肯定感・社会性・意欲〉

◎積極的に戸外へ出掛け、様々な体験活動を行う

◎自然に触れる…遊びや表現活動に取り入れる

- ・ 動植物を育てる
- ・ 季節の変化への気付き

### 2. 「ふれあい交流」

〈挨拶(言葉)・人間関係・感情・思いやり・優しさ・社会のルール・役割・想像力・表現力〉

◎元気な声で挨拶をする

- ・ 異年齢交流…たて割り保育、表現遊び
- ・ 地域の方とのふれあい
- ・ 親子交流
- ・ 動物とのふれあい
- ・ 公共の施設を利用し、その場での約束やルールを学ぶ

### 3. 「食事」

〈感謝する心・よく食べる・食事マナー・愛情・体験・気付き〉

◎食事マナー…箸の使い方、姿勢等

◎畑作り…育てる喜び、食べる意欲

- ・ 週に1度の愛情弁当
- ・ 食品とその働きについて興味をも持つ

### Ⅲ 評価項目と取組状況

評価項目		取組状況
幼稚園 管理 運営	幼稚園の教育目標と重点目標の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園教育の目標を具体的な言葉で表し、園が目指す幼児の姿を明確にして保護者に周知するよう努めている。(園ホールに掲示、園通信、HP、PTA 総会資料)</li> </ul>
	危機管理体制等の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理マニュアルの中で各職員の役割をめいかにし、周知している。</li> <li>地震、火災の避難訓練や防犯訓練を定期的実施。</li> <li>大災害に備えた「緊急連絡システムを利用した一斉お迎え訓練」を実施。</li> <li>日常の遊具、施設の安全確認や必要に応じて補修を行っている。</li> <li>敷地内への侵入対策、施錠の徹底。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策として、登園時の健康調査・検温・消毒・マスクの着用等の徹底、周囲の感染状況に応じた対策や保護者への呼びかけをしている。</li> </ul>
	家庭、地域、関係機関への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信やクラスだよりの発行、HP、有線放送、ケーブルテレビ等を利用して情報を発信し、家庭や地域社会への幼稚園教育に対する理解を深める取り組みをしている。</li> <li>個別懇談の他、特に支援の必要のある幼児や保護者に対しては園内の支援体制を整え、家庭との連携を十分取るようにした。個々の状況によっては専門機関に繋げ、連携をとりながら子どもの育ちを見ていくことができた。</li> <li>毎月の教育内容、指導内容をお便りで保護者に伝えている。</li> <li>未就園児教室を開設したり、個別ではあるが園見学の機会を設け、幼稚園を知ってもらったりする機会を設けた。</li> <li>保育参観や懇談会は、なるべく参加しやすい日程を密にならないよう複数日の設定をしたり、時間入替制にするなどして実施した。</li> <li>保護者アンケートや保護者会を実施し、幅広い声や意見を把握することができ、結果をお便り等の書面で公開し、今後の教育活動の参考とすることができた。</li> </ul>

評価項目	取 組 状 況
教育課程の編成・実施の考え方についての教職員間の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週 1 回の職員会議や日々の打ち合わせ等で教育課程の編成(指導計画)や実施法(年案・月案・週案)について話し合い、教員間の共通理解を図るために努力している。</li> <li>・園が定めている教育課程の健康・人間関係・環境・言葉・表現について達成する目標をもち、編成するよう努めている。</li> <li>・卒園までに身に付けたい10の目標について年間カリキュラムの見直しを行い、保育の中で生かすようにしている。</li> </ul>
教育活動 発達段階に則した適切な幼児理解・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の発達段階に応じた適切な指導・援助に努めている。</li> <li>・加配教諭の配置。</li> <li>・定期的に専門支援員の観察・指導を受け実施している。</li> <li>・一人一人について教職員の話し合いを密に行い、情報の共有に努め学年ごとの繋がりを意識して保育に取り組んでいる。</li> <li>・自主的・主体的に学ぶ環境づくりをするよう努めている。</li> <li>・個別懇談の他、特に支援の必要な幼児や保護者に対しては園内の支援体制を整え、家庭との連携を十分にとる。個々の状況によっては専門機関に繋げ、連携を取りながら子どもの育ちを見ていくことができた。</li> <li>・身近な自然に触れ合ったり健康な体をつくることができるように園外保育や散歩等を積極的に行っている。</li> <li>・野菜の栽培を通じて感謝や喜び、気付き等の食育を大切にしながら、年齢に応じた食事マナーに気付ききっかけ作りをしている。</li> </ul>
幼稚園と小中学校との円滑な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の教育内容について理解したり、園児の様子を知ってもらったりする為に、幼保小中連絡会に参加。</li> <li>・必要に応じて、小学校と連携を取りながら園児が安心して入学できるようサポートを行っている。(校内見学、授業体験、入学式体験等)</li> </ul>
教員の資質向上、研究・研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研究保育の実施により一人一人指導力が向上し、保育の見る目も養うことができた。</li> <li>・幅広い支援の知識を得るために外部専門員を積極的に招待し、教職員の資質向上に役立っている。</li> </ul>

#### IV 学校関係者の評価

- ・コロナと向き合いながら活動している幼稚園に頭が下がります。引き続き、園、家庭、地域で協力し、未来ある子ども達を育て欲しい。
- ・コロナ禍で様々な対応に苦勞されたと思いますが出来る限りの最善をしていただけたと思っています。
- ・子ども達一人一人の心に寄り添い活動して頂き安心してお願い出来、日々有り難い思いです。
- ・まだまだ園に伺う機会は少ないものの、今年度は交通安全教室や運動会を観ることができ、子ども達の楽しそうな様子や、一生懸命頑張る姿に感動しました。また、折々に送っていただいた園だよりからは、コロナ禍ながらもなんとか行事を実行（オンライン）、また形を変えてのお楽しみ会、秋まつりなどの開催などがあり、様々な工夫で子ども達が楽しめるようにとの心遣いが感じられました。
- ・日々幼児教育にご尽力いただき感謝しております。コロナ規制も緩和され、新たなフェーズへ移行されますが、以前のような学園生活が送れることを期待しています。
- ・幼稚園に毎日行って子ども達を見させていただいているわけではないので評価は難しいですが、たまに拝見する子ども達の様子を見ての判断となりました。先生方の本気で子ども達と接して下さっている姿勢にはいつも感心しています。
- ・園児たちが伸び伸びと園庭で運動をしたり友達同士で走り回っています。挨拶も元気よく園児の皆さんからしてくれます。
- ・新型コロナウイルス感染の中、一番影響を受けたのは子ども達であり、十分な活動や教育等が受けられなかったりと制限を受けていたと思います。園には運動会で参加しましたが楽しい中で運営されていたと感じました。子ども達を取り巻く環境は、地域、大人、親と問題の多くなった昨今です。大変な時期ですが、園のご活躍を期待します。

#### V 総合評価

- ・今年も新型コロナウイルス感染防止の為、多くの交流の機会が失われましたが、地域の感染状況を見ながら、運動会や交通安全教室など少人数に分散して参加していただくことができました。
- ・幼稚園だよりやホームページなどで園や子どもたちの活動の様子を積極的に発信し、保護者や地域の方とのつながりが深まるよう努めました。
- ・コロナ禍の中で日々の感染対策や、行事の工夫など職員間での連携がさらに深まり、全員で一人一人の子どもの見取りが行われました。
- ・今後もウイズコロナの生活は続くと思われませんが、できる限り地域の方との交流の場を設けていきたいと考えています。
- ・保護者からは概ね良い評価をいただきましたが、就業の有無や価値観の相違で様々な意見があります。それぞれの意見を受け止めた上でより良い教育環境を目指したいと思います。

## VI 今後取り組むべき課題

### 【施設環境・安全面】

- ・施設の防犯対策、園舎の老朽化に伴う安全管理と教育環境の整備の更なる見直しと修理改善を行っていきます。また、防犯意識を高め、維持できるよう改善と訓練を継続して参ります。
- ・遊具等は業者による安全点検の他、日常点検を行っていません。また、園児の施設や遊具の使い方等は年度初めの『お約束』の他に保育の中で都度指導していきます。

### 【行事・保育について】

- ・今年もコロナ禍の中でしたが、行事を含め全てにおいて園児の安心・安全を守りながらできる限りのことを園児に経験させたいと考え、検討に検討を重ね、できるだけ実施できるように工夫しました。様々な保護者の意見を真摯に受け止め、今後も更に適切な対処できるよう努力して参ります。
- ・園児一人一人を理解し、更に幅広い支援の知識を高め、教職員全体の資質向上を図って参ります。
- ・『保護者との連携』を大切にし、意思疎通ができるよう信頼関係の向上に努めます。
- ・コロナ禍の中での地域との新たな交流方法、保育行事等を更に工夫していきます。

## VII 財務状況

- ・公認会計士監査により、適正であると認められています。